

平成 26 年度中国地方建設技術開発交流会 開催方針

1. 開催目的

産学官の新技术・新工法等の普及、活用を図るための技術交流を目的として開催する。
技術者をはじめ、一般住民も含めた多くの聴講者が建設技術の情報を共有しやすい場とする。

2. 開催方針

(1) テーマ

【メインテーマ】 安全、安心な暮らしの確保

【サブタイトル】 社会資本の老朽化対策及び防災・減災への取り組み

【発表テーマ】 「大規模又は広域的な災害リスクの低減」

(例) 自然現象・自然災害から国土・地域を守るための技術

「社会資本の適確な維持管理・更新」

(例) 社会資本の老朽化対策への取り組み

「持続可能で活力ある国土・地域づくりの実現」

(2) 開催時期

前年と同様に、10月～11月の開催で調整する。

(他のイベントと日程が重ならない事が好ましい。)

(3) 開催場所

中国地方 5 県で開催する。

来場しやすい会場を選定する。(前年度の会場を参考に)

(4) 基調講演

大学・工業高等専門学校教員による講演を行う。

講師については、開催県からの推薦とする。

(5) 発表課題

発表課題については、下記の点を考慮して依頼・選定を行う。

- ・ 発表テーマに沿った内容のもの
- ・ 話題性のあるタイムリーな内容のもの
- ・ 中国地方や開催県に関連した地域性のある課題
- ・ テーマ・発表団体に片寄りが無いようにバランスを考慮
- ・ 単なる宣伝にならないよう、開発経緯・問題点・施工結果・効果等を盛り込む

発表課題① 学官技術発表(2課題程度)

- a) 学校関係、中国地方整備局及び地方公共団体による建設技術に関する研究開発・

計画・施工例・効果等の発表を行う。

- b) 中国地方整備局及び地方公共団体等で活用された新技術・新工法の活用成果の発表を行う。新技術を採用した経緯、施工中の問題点及び解決方法、施工後の追跡結果等を踏まえた内容とする。

発表課題② 技術開発支援制度による開発技術(1課題程度)

(一社)中国建設弘済会による技術開発支援制度助成課題の成果発表を行う。

発表課題は、中国建設弘済会からの推薦とする。

発表課題③ 民間技術発表(3課題程度)

民間による建設技術に関する発表を行う。発表課題の選定については、民間団体からの推薦課題の中から事務局が選定を行う。

(6) 発表数・発表時間

平成25年度に会場で行ったアンケートにおいて、発表課題数と発表時間について「ちょうどいい」との回答が8割近くあった。

一方で、参加団体から民間技術発表を一昨年までの4課題にできないかとの要望も出された。

タイムスケジュールは、下表を基本とするが、提出された課題の内容によっては、民間技術発表課題数を変更することも考慮する。

なお、基調講演を昨年度の60分から50分に、休憩を昨年度の10分から15分に変更する。

項目	課題数	発表時間	タイムスケジュール
開会挨拶		5分	13:00 ~ 13:05
基調講演	1課題	50分	13:05 ~ 13:55
休憩		15分	13:55 ~ 14:10
発表課題	3課題	各25分 (質問、入替含む)	14:10 ~ 15:25
休憩		15分	15:25 ~ 15:40
発表課題	3課題	各25分 (質問、入替含む)	15:40 ~ 16:55
閉会挨拶		5分	16:55 ~ 17:00

3. その他

CPD(継続学習制度)プログラム

今年度も、建設系CPD協議会に属する団体の所属会員を対象に、CPDプログラム認定を行う。

昨年度同様、CPDプログラム認定を取得する団体を、例年CPD単位取得者数が最も多い「全国土木施工管理技士会連合会」とし、その他の団体については、CPD単位の相互承

認制度を活用していただく。相互承認制度を実施していない団体は、個別にCPDプログラム認定の取得を行う。

建設系 CPD 協議会加盟団体のうち、個別にCPDプログラム認定の取得が必要な団体

- ◆ 全国土木施工管理技士会連合会
- ◇ (一社)全国測量設計業協会連合会
- ◇ (社)日本建築士会連合会
- ◇ (社)日本造園学会

◆:CPD 受講者数が例年最多

◇:相互承認制度を実施していない

建設系 CPD 協議会加盟団体のうち、CPD 単位相互承認が可能な団体

- ・ (公社)空気調和・衛生工学会
- ・ (一社)建設コンサルタンツ協会
- ・ (公社)地盤工学会
- ・ (一社)全国上下水道コンサルタント協会
- ・ (一社)森林・自然環境技術者教育会
- ・ (公社)土木学会
- ・ 土質・地質技術者生涯学習協議会(事務局:(一社)全国地質調査業協会連合会)
- ・ (一社)日本環境アセスメント協会
- ・ (公社)日本コンクリート工学会
- ・ (公社)日本技術士会
- ・ (公社)日本都市計画学会
- ・ (公社)農業農村工学会